



D. K. Lee

李東建  
2008-09年度国際ロータリー会長

No. 32

Takasago Rotary Club

週報

高砂

### クラブ会長方針

- ①ロータリーを楽しもう
- ②子どもたちが幸せになるために
- ③友愛奉仕活動を実践しよう
- ④ロータリーの綱領を実践する

例会記録 (2009. 3. 6 (金)) 通算2,747回

#### ◆開会

#### ◆国歌斉唱

君が代

#### ◆唱歌

ロータリーソング (奉仕の理想)

#### ◆プログラム予定

3月11日 (水)	3月20日 (金)	3月27日 (金)	4月3日 (金)
高砂青松R.Cとの 合同例会 (3.13(金)例会分) 於 高砂神社会館	休 会 (祝 日)	卓 話 「RI国際大会バーミン ガムへのお誘い」 坂牛八州会長	卓話「播州の国の山頭火」 —映像を見ながら— NPO法人山頭火顕彰 センターの会 代表 北野木鶏氏

## ◆出席報告

本日 3月 6日 会員数49名 欠席者6名 出席率86.67%  
前々回 2月13日 会員数48名 欠席者0名 出席率100%

## ◆MAKE-UP

叶 敏次会員 e-CLUB 2月19日  
e-CLUB 3月 4日  
覚野 成広会員 e-CLUB 2月19日  
e-CLUB 3月 2日  
伊地知正治会員 e-CLUB 2月25日  
永野 力会員 地区大会 12月 8日

## ◆お祝い

### ○誕生日祝

砂川 次善会員 森本 克己会員  
加茂 良平会員 坂牛 八州会員  
叶 敏次会員 中野 哲郎会員  
井上 慶治会員 西田 秀雄会員  
伊藤 輝彦会員

### ○配偶者誕生祝

坂牛 裕子様 脇谷知可子様  
高木 尚美様

### ○結婚記念日

籠谷 啓一会員 井本 雅也会員

### ○出席100%祝

植杉 安夫会員 55年  
加茂 良平会員 34年  
伊地知正治会員 7年



新入会員 伊藤輝彦会員



誕生日祝

## ◆友愛奉仕活動委員会

友愛奉仕基金 33,000円

## ◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

植杉 安夫会員……出席100% (55年) 祝を頂いて。

西田 秀雄会員……誕生祝を頂いて。

中野 哲郎会員……誕生祝を頂いて。

井上 慶治会員……誕生祝を頂いて。



出席100%祝  
加茂会員(34年)と植杉会員(55年)

砂川 次善会員……誕生祝を頂いて。  
伊藤 輝彦会員……誕生祝を頂いて。  
加茂 良平会員……誕生祝、出席100%（34年）を頂いて。  
井本 雅也会員……結婚祝いを頂いてありがとうございます。  
籠谷 啓一会員……結婚祝を頂いて。本日スピーチをさせていただきます。  
高木 史郎会員……奥様（尚美様）の誕生祝を頂いて。  
脇谷 政孝会員……奥様（知可子様）の誕生祝を頂いて。  
伊藤会員ご入会おめでとうございます。  
坂牛 八州会長……誕生祝、奥様（裕子様）の誕生祝をいただいて。  
前期高齢者の仲間入りとなりました。よろしく。  
早退3名

### ◆幹事報告（2,747回）

- ◎地区社会奉仕委員会より「チェックカード」が配られました。特に新しい会員が楽しいロータリーライフを送るための6つの目標が書かれているとのこと。ご参照ください。
  - ◎東播第2グループI.M.の決算報告書が届いています。
  - ◎阪神なんば線開通に伴う大阪松竹座観劇の案内が届いています。
- ※例会変更のお知らせ
- ◎姫路南R.C 3月9日（月）→ 例会場：姫路市医師会館

### ◆会長の時間

前例会が休会でしたので、2月23日のロータリークラブの創立記念日が通り過ぎてゆきました。

20世紀初頭1905年2月23日シカゴの青年弁護士ポール・ハリスと他2名によってはじめられた事は衆知の事と存じます。

小生が入会まもなくの頃、当時の亀野健一会長が「坂牛さん、例会のスタイルが教会の礼拝と似てますやろー」と言われていたのを思い出します。

教会では献金、お寺はお布施、神社では奉献。いずれも、神仏への感謝、願い事のために捧げます。一方、寄付（寄進）という言葉もあります。ロータリーでは主として「寄付」を使っています。

企業、事業のいとなみの中で、職業倫理、社会倫理としてロータリーの綱領及び、4つのテストがあります。

ロータリークラブ黎明期に「奉仕の理想」という高い精神があったかどうか知るところではありませんが、ロータリー精神の根源に有名な社会学者マックス・ウェーバーの言う資本主義制度の中で得た収益、富の所有者は、「社会」である、更に経済のメカニズムが神のなせる業であるから「神」のものであるという倫理観を述べています。聞き方によっては「お客様は神様です」という聞いたことのあるフレーズです。この考え方が資本を悪魔にしない倫理であり、福祉という考えの根底にあるのです。

資本・富の独走という暴挙が発生し、この倫理がなければ、やがて「革命」という思想につながっていくのです。

資本・富の均衡 = Welfare = よい公正 = 福祉の根源的な考え方の一つがロータリー思想ではないかと思うのです。

ロータリー活動の原資は会費、寄付、献金で、奉仕の一つの一形態です。その奉仕によって、報いを求めません。敢えていうならロータリアンであることの誇りとステータスでしょう。

昨今話題の政治献金とは程遠いものかもしれませんが、企業のいとなみの中で必要悪であるなら、考えなくてはならないことです。

## ◆本日のプログラム

### 卓話「高病原性鳥インフルエンザについて」

情報・広報委員長 籠谷啓一会員

世界的大流行（パンデミックス）を起こす危険性がある鳥インフルエンザについて厚生労働省新型インフルエンザ対策関連情報をもとに卓話を頂きました。

以下新型インフルエンザ対策関連情報から一部抜粋を記載します。

このパンデミックスの過去の例として有名なものとして1918年～1919年に発生したスペインインフルエンザがあります。このとき世界では4,000万人の人が死亡したと推定され、日本でも2,300万人が感染、39万人もの人が死亡したと記録されています。

このように、新型インフルエンザの大流行が起こると多くの人が感染し医療機関は急患であふれかえり、国民生活や社会機能の維持に必要な人材の確保が困難になるなど数々の問題が生じる可能性もあります。このためWHO（世界保健機関）では平成11年（1999年）インフルエンザパンデミック計画を策定し平成17年（2005年）には、世界インフルエンザ事前計画を改定し、WHO及び各国の対応を要請しました。

感染力の強い新型インフルエンザを予防するには外出後の手洗い、マスクの着用、流行地への渡航、人混みや繁華街への外出を控える（不要不急の外出の自粛）が重要です。またインフルエンザは人から人へ容易に感染するので他人にうつさないことも重要です。インフルエンザに感染して病症のある人は病気の悪化や周囲の人への感染を防ぐために、自宅で休養することが重要です。

現状では新型インフルエンザは出現されていませんが、出現した場合も通常のインフルエンザと同様に上記の感染予防策に努めなければなりません。また新型インフルエンザが流行して、外出が避けるべき事態となり、物資の流通が停滞することを想定し普段から食料品、日用品を備蓄しておくことが望ましいと考えられます。



